

Xanthomonas manihotis由来の $\alpha(1-2,3)$ マンノシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1269

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 α -マンノシダーゼは植物の液胞に存在する酸性加水分解酵素であり、N-結合型糖タンパク質のターンオーバーに関与していると考えられています。 α -マンノシダーゼはBリンパ球の増殖を抑制することが示されています。

別名 アルファ-D-マンノシダーゼ; アルファ-マンノシダーゼ; アルファ-D-マンノシド マンノヒドロラーゼ; α -D-マンノシダーゼ; EC 3.2.1.24; 9025-42-7

製品情報

種 ザントモナス・マニホティス

由来 大腸菌

形態 50 mM NaCl、20 mM Tris-HCl (pH 7.5 25°C)、および1 mM Na₂ EDTA。

分子量 90 kDa

活性 80,000 ユニット/mg

濃度 32,000 ユニット/ml

単位定義 1単位は、1 nmolのMan α 1-3Man β 1-4GlcNAc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC)から非還元末端の α -D-マンノースを95%以上切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反応体積10 μ lで行われます。

保管・発送情報

保存方法 4°C